

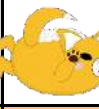
【基本目標1】 家庭、地域、学校等における取組の推進

■施策1 家庭における取組の推進

【目指す成果】				H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	アンケート実施による 次回効果測定は、 平成32年度を予定。
重点取組3	共通	効果	読み聞かせの頻度【図表27】 園児の「週に1回以上」(%)	目標	H27(48.8%)から5%増			53.8	-	-	
	指標	効果	子と共に読書する頻度【図表27】 生徒児童の「週に1回以上」(%)	実績	H27(12.2%)から5%増			17.2	-	-	
取組名		内容		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	関係する課等
1	学校の読書週間での「うち読」の周知		毎年5月の学校図書主任会に中央図書館司書が出席し、マイブックプロジェクトや団体貸出しの説明と同時にうち読の推進依頼も行い、学校の読書週間できっかけ作りをし、中央図書館のカードを活用するなどの連携を図ることで「うち読」実施家庭を増やす。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課
				集中取組期間							備考 5月の図書主任会にて全小中学校に推進依頼を行っています。「うち読」の推進について学年通信で紹介する学校もあります。
				開始	実施	実施	評価				
指標	活動	「うち読」周知の実施校数(校)	目標	10	36	36	36	36	36	36	
			実績	36	36						
2	「うち読」講演会の開催による普及・啓発		全国組織「家読推進プロジェクト」等から講師を派遣してもらい、「うち読」の効果的なやり方に関する講演会を開催し、「うち読」実施家庭を増やす。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
				集中取組期間						備考 講師料等が必要な場合があるので、初年度に見積もりを取るなどし、必要な予算を確保などの調整も必要に応じて行います。 (H29春の図書館まつりにて、中谷優子さん)	
				検討	開始	実施	実施	評価			
指標	活動	「うち読」講演会開催回数(回)	目標		1	1	1				
			実績	—	1						
3	「うち読」ノートの改良、配布方法の見直し		取組開始から年数が経過し、当初ほど「うち読」ノートの配布や活用がされなくなっているのを改善するため、ノートのデザインの見直し等の改良を行うとともに、中央図書館での配布方法の見直しを行い、「うち読」実施家庭を増やす。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
				集中取組期間						備考 うち読ノートの予算要求をしましたが、予算がつかなかったため、予算をかけずにデザインの見直し等の改良ができるようにします。	
				検討	検討	開始	再検討	見直し	評価		
指標	活動	「うち読」ノートのデザイン等見直し(回)	目標			1		1			
			実績	—	—						
指標	活動	「うち読」ノート配布冊数(冊)	目標	300	410	430	450				
			実績	400	400						
4	4か月児健康診査の待ち時間を利用した「ブックスタート」事業の実施(継続)		健康診査の順番待ちの時間を利用して、ボランティアによる絵本の読み聞かせや家庭での読み聞かせへのアドバイスをを行うとともに、「ブックスタートパック」(2冊の絵本から1冊を選択)を配布し、読書活動のきっかけづくりに役立ててもらう。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	○子育て支援課 ○保健センター
										備考 回数や配布人数は、4か月児健康診査の受診状況によるため、指標を増加させるような目標を立てるのは困難ですが、確実に継続していく必要があるため実施計画に掲載します。	
				継続	継続	継続	継続	継続	継続		継続
				継続	継続	継続	継続	継続	継続		継続
指標	活動	実施回数(回)	目標	36	36	36	36	36	36	36	
			実績	36	36						
指標	活動	「ブックスタートパック」配布人数(人)	目標	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	
			実績	1,637	1,516						
5	乳幼児の保護者向け講座「絵本で子育て楽しんでみませんか」の開催(継続)		ブックスタートの次のステップとして、4か月から12か月までの乳幼児とその保護者を対象とした、絵本を使って子どもとのコミュニケーションを図るための講座を開催し、家庭での読書活動のきっかけづくりに役立ててもらう。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
										備考 第一次計画以前から実施している継続事業です。対象が12か月までの乳幼児とその保護者に限定されているため、当面、現状の維持につとめます。 *H28年度報告数49組が110組の間違ったため、30年度からの目標を100組に変更。	
				継続	継続	継続	継続	継続	継続		継続
				継続	継続	継続	継続	継続	継続		継続
指標	活動	実施回数(セット) ※1セットあたり3回構成の講座	目標	2	2	2	2	2	2	2	
			実績	2	2						
指標	活動	講座への参加者数(組) ※乳幼児とその保護者の組参加	目標	50	50	100	100	100	100	100	
			実績	110	98						

(基本目標1)

■施策2 地域(図書館を含む)における取組の推進

【目指す成果】				H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	アンケート実施による次回効果測定は、平成32年度を予定。また、マンガ・ラノベコーナー（貸出不可）の閲覧の効果をどう評価するか要検討
重点取組4	共通指標	効果	ティーンズ図書の年間貸出冊数（冊）	目標	H26(11,835)から5%増		12,426				
		効果	読書好きな子どもの割合【図表1】児童生徒の「好き」以上「（％）」	目標	H27(57.7%)から5%増			62.7			
実績			実績								
重点取組1											
取組名		内容		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	関係する課等
6	絵本にふれるきっかけとして、乳幼児健康診査の待合室などに絵本を設置	1歳6か月児と3歳児を対象に行われる乳幼児健康診査の待合室などに、中央図書館からの団体貸出扱いなどを利用して絵本コーナーを設置し、子どもと保護者が絵本にふれる機会を提供する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	○保健センター ●中央図書館 備考 H29年度は、目標より5冊多い40冊を提供。図書の冊数も増えたため、以前からある古く傷んだ図書の整備なども検討する必要があります。	
			集中取組期間								
			開始	拡充	拡充	評価	継続	継続	継続		
			0	35	40	45	50	50	50		
7	2歳児歯科健康診査時の待ち時間に、ボランティアによる「絵本の読み聞かせ」などを実施	2歳児歯科健康診査の会場で、受診までの待ち時間を利用して、ボランティア（子育てネットワーク）により、「絵本の読み聞かせ」や「手遊び」などを行い、読書活動の普及・啓発を図る。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	○子ども課 ○保健センター 備考 回数や参加人数は、歯科健康診査の受診状況にため、指標を増加させるような目標を立てるのは困難ですが、確実に継続していく必要があるため実施計画に掲載しています。	
											
			継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続		
			36	36	36	36	36	36	36		
8	公民館や児童館で「読み聞かせ教室」を開催	子どもたちが身近に本を楽しめるよう、地域の読み聞かせボランティアが、乳幼児から小学生までとその保護者を対象に、公民館や児童館などで、「絵本の読み聞かせ」や「紙芝居」、「エプロンシアター」などを行う「読み聞かせ教室」を開催する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	○子育て支援課 備考 この取り組みの活動指標の対象は「読み聞かせ教室」のみです。児童館での「読み聞かせ」については、基本目標3・施策7の取組番号37番の指標の対象として別掲しています。	
											
			継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続		
			56	56	56	56	56	56	56		
9	ティーンズコーナーの充実	中学生、高校生の声を反映し、まんがやライトノベルなどを含むティーンズ向け図書の冊数や種類を増やすとともに、レイアウトやPOPなどの工夫を凝らし、ティーンズ図書の貸出冊数を増加させる。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 H28年に設置した「マンガ・ラノベコーナー」（貸出不可・閲覧のみ。）に図書を増やし、書架を増設しました。H29年度は掲示板を設置し、ティーンズ向けの情報を発信できるようにしました。	
											
			継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続		
			6,000	7,600	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200		
10	ティーンズ向け図書の人気作家を招いた講演会等の開催	ティーンズコーナーのPRと、中学生、高校生への読書啓発のために、まんがやライトノベルを含む良質なティーンズ向け図書の人気作家を招いた講演会を開催し、中学生や高校生の来館者を増やす。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 どのような作家を呼ぶべきかを十分に検討するとともに、必要な予算を措置し、当面は、年1回程度のペースでの開催に向けた検討・調整を行います。	
			集中取組期間								
			検討	調整	開始	実施	実施	評価			
			—	—	1	1	1	1	1		
11	小学生から高校生までの総合学習や調べ学習に必要な資料の収集と提供	近年、高校生だけでなく、小学生や中学生が学習を目的として図書館の閲覧室を利用するケースが増えつつあることを踏まえ、学校と連携して、総合学習や調べ学習に必要な資料を備え、積極的に図書館を利用してもらう。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 H29年度は、小学校で総合学習や調べ学習に使用する資料を見直し、追加購入しました。	
											
			継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続		
			50	50	50	50	50	50	50		
12	児童向け点字図書や音声図書の充実	障害のある子どもたちに利用しやすい点字図書や音声図書、マルチメディア図書などを積極的に収集するとともに、それらの図書を利用しやすくするために必要な合理的配慮を行う。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 児童コーナーに「LLブック、点字、さわる本」のコーナーを新設し、より利用しやすいように排架を見直しました。H28に音声を多く購入したため、H29は点字図書やLLブックを中心に収集しました。	
											
			継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続		
			5	5	5	5	5	5	5		

— 9 —

(基本目標1)

■施策3 学校等(幼稚園・保育所を含む)における取組の推進

【目指す成果】				H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	※「不読率」とは、アンケートで「ほとんど本を読まない」と回答した児童・生徒又は保護者から見たあまり本を読んでいる園児の割合をいいます。 アンケート実施による次回効果測定は、平成32年度を予定。			
重点取組2	共通指標	効果	不読率の減少【図表2】 小学4～6年(%)	目標	H27(14.7%)から10%減			4.7	-	-				
		効果	不読率の減少【図表2】 中学生(%)	目標	H27(22.4%)から5%減			17.4	-	-				
		効果	不読率の減少【図表2】 高校生(%)	目標	H27(46.3%)から3%減			43.3	-	-				
		効果	不読率の減少【図表25】 保護者から見た園児(%)	目標	H27(29.4%)から5%減			24.4	-	-				
		効果	不読率の減少【図表25】 保護者から見た小学4～6年(%)	目標	H27(50.3%)から10%減			40.3	-	-				
				実績										
取組名	内容			H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	関係する課等			
21	マイブックプロジェクトの実施	中学2年生に、中央図書館が提供する一定金額分の図書購入券を配布し、子ども自らが書店で本を選び、購入し、読み終えたら読んだ本の紹介メッセージを付けて学級文庫に入れ、級友や他のクラスの生徒とも読み合うことで、子どもが積極的に本と触れ合えるようにする。			前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課		
														備考 当初は実施後3年で廃止を含めた見直しを行うものとされていたが、継続を望む声が強いため、今後も継続していきます。
					継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続			
指標	活動	生徒参加率(%)	目標	96.0	96.0	97.0	97.0	98.0	98.0	98.0				
			実績	96.1	95.0									
22	朝読の推進	朝、授業が始まる前の時間を利用して、子どもたちが読みたい本を読める場を設けることで、子どもたちに読書をする習慣を身に付けてもらうことを目的として、朝読(朝の読書活動推進運動)を実施する。			前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課		
														備考 基礎学力向上のために、朝の時間をドリル学習に利用する学校もあるため、どのように朝読を推進するかの継続的な検討が必要です。
					継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続			
指標	活動	朝読実施校数(校)	目標	36	36	36	36	36	36	36				
			実績	36	36									
23	保育園へ、子ども用の図書や紙芝居などを貸し出す「おやこ文庫」の実施	図書や紙芝居などが常に子どもの身近にある環境をつくるため、保育園等へ「おやこ文庫」を貸し出し、子どもたちの読書への関心を高める。			前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ○子ども課		
														備考 その年の園の事情によって希望しない場合があるため、年度により参加園は異なりますが、引き続きPRをして参加を促します。
					拡充	継続	継続	継続	継続	継続	継続			
指標	活動	保育園等へのPR回数(回)	目標	2	2	2	2	2	2	2				
			実績	2	2									
指標	活動	対象保育園数(園)	目標	25	36	36	36	36	36	36				
			実績	36	34									
24	学校図書館の利用を高めるための協議の場の設置	子ども読書に関するアンケートを実施した結果、子どもたちの声として「学校図書館の利用時間が十分でない」との意見が目立ったため、その声に対応するための協議の場を設け、延長の可否を検討する。			前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課		
														備考 学校現場の事情もあり、容易には延長等ができないため、関係機関で十分に協議を行います。
					調整	実施	実施	実施	評価	継続	継続			
指標	活動	協議会の開催回数(回)	目標		1	1	1							
			実績	—	1									
25	小中学校全校の「学校図書館図書標準」充足率100%以上を実現	小中学校の各学校図書館の適正な蔵書数の基準として、文部科学省の定めた「学校図書館図書標準」に沿って、その充足率が100%を超えるように整備を行う。			前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課		
														備考 除籍対象の古書を廃棄しなければ充足率は高められるますが、子どもたちが使いやすい学校図書館とするため、除籍を適正に行ったうえで、図書の充実を図る必要があります。 *年により調査時期が異なる。H29は今後実施予定。
					調整	実施	実施	実施	評価	継続	継続			
指標	活動	充足率100%以上の学校の割合(%)	目標		40	50	60	70	80	80				
			実績	30.6	*未調査									
指標	活動	除籍図書数(冊)	目標		—	—	—	—	—	—				
			実績	9,986	*未調査									
26	小・中・高の各学校の課外授業やカリキュラムの一つとして、市の図書館の見学会を実施	小学生から高校生までを対象に、図書や読書への関心を高めてもらうことを目的とした、図書館見学会を実施する。(中央図書館や各分館の徒歩圏内の学校の一部で既に実施中)			前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課		
														備考 H29年度は、小学校の学年単位での見学がなかったため、参加人数が減少しました。
					継続	継続	調整	調整	拡充	充実	充実			
指標	活動	実施校数(校)	目標	5	5	5	5	10	10	10				
			実績	4	4									
指標	活動	参加人数(人)	目標	120	130	140	150	200	200	200				
			実績	160	40									

【基本目標2】普及啓発活動の推進

■施策4 「子ども読書の日」を中心とした普及啓発の推進

【目指す成果】			H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	普及啓発を目的とするため、貸出冊数ではなく、来館者数や利用者を効果指標に設定します。		
共通指標	効果	市の図書館来館者数(人)	目標	578,000	583,500	589,000	594,500	600,000	600,000		600,000	
			実績	648,322	660,487							
			目標	92,000	94,000	96,000	98,000	100,000	100,000		100,000	100,000
実績	95,111	94,575										

取組名	内容	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	関係する課等
27 図書館検定の実施	子どもたちに図書館や読書への興味や関心を抱いてもらい、図書館への来館のきっかけとなるよう、図書館でのマナーや図書に関する知識を設問とした「図書館検定」を実施する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
									備考
		改善	改善	評価	継続	継続	継続	継続	H29「見直し」、H30「改善」、H31「評価」としていた計画を、1年前倒ししてH29に「改善」を行ったところ、参加人数が前年を大きく上回りました。
		指標	活動	参加者数(人)	目標	600	620	700	700
実績		670	795						

28 読書週間等の行事の充実を図るため「まんが、ライトノベル、アニメデー」を開催	4月23日の子ども読書の日を中心とした春の読書週間や10月27日の文字・活字文化の日を中心とした秋の読書週間に、子ども参加型のイベントとして、まんがやライトノベル、アニメに関するイベントを開催する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
				集中取組期間					備考
		検討	調整	開始	実施	実施	評価		平成30年度実施予定で準備を進めています。
		指標	活動	開催回数(回)	目標				
実績		—	—	1	1	1			

29 「図書館まつり」の開催	これまで読書週間などを中心として複数の日に分散して行っていた各種関連イベントを、「図書館まつり」として特定の日又は期間に集約して、様々なイベントを同時に楽しむことができるようにし、相乗効果で読書への関心を高める。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
									備考
		開始	実施	実施	評価	継続	継続	継続	春と秋の2回の図書館まつりを実施しました。H29年度はイベントの種類を増やし、子どもから大人まで楽しめるイベントを実施しました。
		指標	活動	開催回数(回)	目標	0	2	2	2
実績		2	2						
指標	活動	内包する関連イベント数(種)	目標	0	15	15	15	15	15
実績		19	22						

■施策5 子どもの読書活動に関する情報の収集・提供

【目指す成果】			H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	アンケート実施による 次回効果測定は、 平成32年度を予定。		
指標	効果	ボランティア講座認知度【図表36】 「知らなかった」の割合(%)	目標	H27(71.5%)から10%減					61.5	61.5	61.5	
			実績									
取組名			H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	関係する課等		
30	市図書館のホーム ページに子ども読書 活動の関連事業や 実施計画の取組状 況などを掲載する専 用ページを設置	「読み聞かせボランティア講座」の開催 情報や、この実施計画に掲載の各種取 組とその進捗情報、おすすめ図書、各 種ボランティアの活動状況など、子ども 読書活動に関連する情報を集約し、保 護者等へ提供する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館		
			集中取組期間								備考	
			調整	開始	充実	充実	評価	継続			継続	H29年度は、ホーム ページ全体を、子ども 向けのデザインに変更 した上で、ぬり絵ペー ジを始め子ども向け コンテンツを10作成しま した。
			指標	活動	掲載コンテンツ数(件)	目標	10	12	12	12	12	12
			実績	—	10							
31	子ども読書関連活動 を行うボランティアの 情報を収集し、生涯 学習情報システム 「学びネットあいち」 へ情報提供	読み聞かせボランティアや図書館登録 団体などの要望の有無をリサーチした 上で、ボランティアや団体が主催する講 座や催しなどの情報の周知について、 「学びネットあいち」への情報提供(掲載 依頼)を代行する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館		
			集中取組期間									備考
			調整	調整	調整	調整	開始	実施				実施
			指標	活動	情報提供件数(件)	目標				5	10	15
			実績	—	—							
32	市生涯学習情報サイ ト「まなびネットとよ かわ」に中央図書館や 分館での関連ボラン ティアや団体の情報 を掲載	生涯学習課が管理する「まなびネットとよ かわ」に、中央図書館や分館で開催され る読み聞かせ事業やボランティア養成 講座、図書館登録団体の活動情報など も掲載してもらうように、生涯学習課と調 整する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●生涯学習課		
			集中取組期間									備考
			検討	検討	調整	調整	開始	実施				実施
			指標	活動	情報提供件数(件)	目標				10	10	10
			実績	—	—							
33	外国人の保護者へ の市の図書館のPR	学校へ通っている子どもは日本語を話 せる子がほとんどだが、その保護者は母 国語しか話せないケースが多い。子ども と図書館へ来館する機会を増やすた め、子ども連れの外国人利用者を増や すことを目的として外国語の本の所蔵を PRする。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ○市民協働国際課		
			集中取組期間								備考	
			検討	調整	開始	実施	実施	評価			どの程度効果があるか を関係機関と協議し、 対象者の意見なども踏 まえて、実施や継続す るかどうかを決定しま す。	
			指標	活動	外国人保護者へのPR回数(回)	目標		1	1	1	1	
			実績	—	—							

■施策6 優れた取組の奨励、優良な図書の普及

【目指す成果】			H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	企画展示などで紹介した図書が、実際に子どもたちに借りられることを目指して指標を設定します。	
共通指標	効果	市の図書館児童利用者数(人)	目標	92,000	94,000	96,000	98,000	100,000	100,000		100,000
			実績	95,111	94,575						
	効果	市の図書館児童図書貸出数(冊)	目標	398,000	398,500	399,000	399,500	400,000	400,000		400,000
			実績	431,389	477,707						

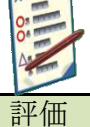
取組名	内容	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	関係する課等	
34 中央図書館エントランス等での児童図書等の特別企画展示の開催(※H29年度以降は、エントランス以外や分館分も対象)	子どもたちが読書に興味を持つきっかけづくりに、日本絵本賞をはじめとする、前年度の児童図書に関する各種受賞作品や、市民団体の手作り絵本、子どもたちの興味をひく仕掛け絵本などを展示する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	
										備考
		改善	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	当初、中央図書館エントランス限定でしたが、総合カウンター前や児童コーナー、各分館での開催実績もあるため、H29以降は対象や目標を修正しました。
		指標	活動	企画展示開催回数(回)	目標	3	30	30	30	30
		実績	4	30						

35 長年活躍されている読み聞かせボランティアや子ども読書に関連した優れた活動団体の表彰等の奨励	子ども読書活動の推進に貢献しているボランティアや団体の活動を奨励するため、文部科学大臣表彰の対象として推薦したり、市図書館独自の表彰を行うなどし、さらなる子ども読書活動の推進を図る。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
			集中取組期間					備考	
		調整	周知	開始	実施	実施	評価		併せて、国の選考基準を満たすボランティアや団体などの育成に必要な取組についても検討、調整のうえ実施します。
		指標	活動	表彰又は推薦の対象数(件)	目標	1	1	1	
		実績	—	—					

36 児童・生徒に優良な本に関する情報を提供するため、各年齢層別の「おすすめの本紹介リーフレット」等を作成、配布	市の図書館司書や保護者、大学生などが児童・生徒にすすめる本や、高校生から小・中学生、児童・生徒同士が互いにすすめ合う本などをリーフレットや冊子にまとめ、市の図書館などで配布する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
			集中取組期間					備考	
		調整	周知	開始	実施	実施	評価		現在、「うち読のおすすめ本」や「子どもの日読書展」などで期間を区切ったリーフレットの配布を実施していますが、本取組の対象は通年での実施です。
		指標	活動	おすすめ本リーフレット発行数(回)	目標	1	1	1	
		実績	—	—					

【基本目標3】子どもが読書に親しむ機会を提供できる連携・協力体制の整備

■施策7 家庭、地域、学校等相互の連携・協力の推進

取組名		内容	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	関係する課等
37	児童館・児童クラブ・公民館・市民館等への団体貸出・読み聞かせの実施	子どもの身近な場所における読書環境を整備するため、学校以外の子どもが多く集まる施設に図書の貸出を行い、出来るだけ市内の多くの場所で読書ができるようにする。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ○子ども課 備考 ※過去の実績把握及び目標値の設定が誤っていたので、H29以降の目標値を実績値を元に再設定(当面は現状維持)。
										
			継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
指標	活動	読み聞かせ参加人数(人)	目標	650	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	
			実績	3,825	3,845				3,500	
38	図書館等利用案内の作成・配布	子ども向けの図書館利用案内を作成し、新着本や推薦図書の紹介、イベントの開催などの情報を保育園や学校へ配布するとともに、市図書館ホームページに掲載する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 毎月1回の発行のほか夏休み直前の特別号を1回、春と秋の図書館まつりの案内を各2回、合計15回発行しました。
										
			検討	改善	見直し	改善	見直し	改善	見直し	
指標	活動	子ども向け図書館だより発行回数(回)	目標	13	15	15	15	15	15	
			実績	14	15				15	
39	中学校・高校・教職員・企業の社員等の職場体験学習(実習)の実施	図書館司書の業務と、公共図書館運営への理解と関心をもってもらうために、中学生、高校生、教職員又は企業の社員を対象とした体験学習の受け入れを実施する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 生徒だけでなく、学校の教職員や企業などの社員からも職場体験研修の希望があれば受け入れています。H28とH29の実績値には、教職員の研修をそれぞれ5名含みます。
										
			継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
指標	活動	職場体験参加人数(人)	目標	25	25	25	25	25	25	
			実績	29	32					
40	学校と市図書館双方の図書ボランティア及び読み聞かせボランティアの交流、連携	各学校と中央図書館等の図書ボランティアや読み聞かせボランティアの交流や連携を行い、ノウハウの共有や相互のスキルアップを図る。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 各ボランティアや団体とが交流、連携ができるように両課で調整を図っています。
					集中取組期間					
			検討	調整	開始	実施	実施	評価		
指標	活動	交流、連携方法の検討会議開催回数(回)	目標	—	1	1	1	1	1	
			実績	—	1					
41	市の図書館に各学校の児童・生徒を貸切バスで招く図書館体験会を開催	現在、中央図書館や各分館の近くに位置する学校では、各学校の判断により徒歩による図書館見学会を行っているが、距離の離れた学校では実施が困難なため、市の図書館が貸切バスを用意して児童・生徒を招く図書館体験会を開催する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 学校現場や貸切バスなどの都合もあるため、プラネタリウム見学の際に図書館の案内をするなど、予算と時間を工夫した対応を検討し調整します。
					集中取組期間					
			調整	調整	開始	実施	実施	評価		
指標	活動	実施学校数(校)	目標	—	1	3	5	5	5	
			実績	—	—					
42	特別支援学校等との連携	障害のある子どもを含む全ての子どもが、読書に親しみ、読書好きになるためのきっかけづくりとして、市内外の特別支援学校等と連携を図り、できるだけ多くの子どもたちに図書館サービスを体験してもらう。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 H29年度は、図書館を見学するだけでなく、図書館での行事や掲示物作成などの作業の体験をすることで、読書だけでなく図書館にも親しみがもてるような体験をしてもらいました。
			集中取組期間							
			開始	実施	実施	評価				
指標	活動	連携実施校数(校)	目標	0	1	1	1			
			実績	2	1					
指標	活動	参加児童・生徒数(人)	目標	0	25	25	25			
			実績	65	24					
43	地域の文庫活動の活発化	子どもたちの周りに常に本がある環境をつくるため、市内の地域文庫活動を掘り起し、市図書館ホームページなどで周知を図り、地域文庫活動を活発にする。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 ※H28年度と同様にH29年度も、世賜堂書店(御油町)に併設されている「本のひろば」を視察し、連携への検討をしました。
										
			検討	調査	調査	調整	開始	実施	実施	
指標	活動	地域文庫紹介件数(件)	目標				1	1	1	
			実績	(1)※	(1)※					

(基本目標3)

■施策8 図書館間等の連携・協力の推進

取組名		内容	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	関係する課等	
44	学校図書館のネットワーク化に向けて、関係課の協議の場を設ける	学校図書館の図書について、ネットワーク化を図ることで、自校の学校図書館だけでなく、他校や市の図書館まで含めた地域全体の蔵書を対象とした検索や、図書の共同利用を可能とするための協議の場を設ける(市の図書館については、以前からインターネット上で誰でも検索可能。)	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●庶務課 ●学校教育課	
			集中取組期間								
			調整	開始	実施	実施	評価				
指標	活動	ネットワーク化検討協議の開催回数(回)	目標	1	1	1				第一次計画では「ネットワーク化」を取組としていましたが、まず、関係課協議から始めます。	
			実績	—	1						
45	市の図書館司書と司書教諭、巡回司書、との連携、情報交換	学校巡回司書ミーティングや図書主任会などの場を利用して、中央図書館の司書と学校の司書教諭、巡回司書が、子どもの読書活動の推進に関する情報交換や新着本、推薦図書などの情報提供などを行う。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課	
			継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続		
			指標	活動	情報交換等実施回数(回)	目標	2	2	2	2	2
実績	2	2									
46	学校図書館における図書委員育成のための取組を協議する場の設置	学校図書館の活用方法を、子どもたちが自身が提案し、授業や調べ物に積極的に活用できるようにするため、その提案を中心に立つて行う図書委員の育成を図るために、関係する機関での協議の場を設ける。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課	
			集中取組期間								
			調整	実施	実施	実施	評価				
指標	活動	協議会の開催回数(回)	目標	1	1	1				この協議により、具体的な図書委員の育成施策を決定し次第、この取組をその施策に置き換えます。	
			実績	—	1						
47	学校司書、司書教諭、巡回司書の適正配置計画の策定のための協議の場の設置	学校図書館の運営の改善及び向上を図り、利用の一層の促進に資するため、専任の学校司書を置くことを定めたH26改正の学校図書館法第6条に基づき、計画的に適正な配置を行うため、学校教育課と中央図書館との協議の場を設ける。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課	
			集中取組期間								
			開始	実施	実施	評価					
指標	活動	学校司書等の適正配置計画策定協議開催数(回)	目標	1	1	1				H29から、学校図書館の巡回司書の勤務時間がこれまでの4時間から6時間に増えました。	
			実績	1	1						
48	中央図書館から学校への団体貸出のセット内容を見直す協議の場の設置	第一次計画に基づき継続中の、中央図書館から各学校への団体貸出用の図書セットについて、教科書の更新等に伴う内容変更に対応するため、中央図書館司書と学校の主任会との協議の場を設ける。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課	
			集中取組期間								
			開始	実施	実施	評価					
指標	活動	団体セット内容見直し協議の開催数(回)	目標	1	1	1				5月に協議を行った他、学校巡回司書とも意見交換を行い、貸出セットの内容を見直しました。セット内容の要望などのアンケートを実施しました。	
			実績	1	2						
49	「読書週間」等について、中央図書館のイベント情報や各学校での取り組みなどを相互に紹介し合う啓発活動を実施	現在は、それぞれ単独で実施している読書週間のイベントや取組について、互いに情報交換をすることで、読書啓発の効果をより高める。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課	
				集中取組期間							
			検討	調整	調整	開始	実施	実施	評価		
指標	活動	学校での中央図書館イベント紹介(回)	目標			1	1	1		学校教育課の担当者 と、図書館まつりなどの 際に各校の取り組みの 紹介について実施した らどうかなどについて協 議し、実施に向けて検 討中です。	
			実績	—	—						
指標	活動	中央図書館での学校取組紹介数(校)	目標			1	2	4			
			実績	—	—						

(基本目標3)

■施策9 子ども読書活動推進体制の整備

取組名		内容		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	関係する課等	
50	子ども読書に関するアンケートの実施	実施計画の取組の効果等を測定するため、当面の間、5年に1回の頻度で、市内の小・中学校及び高校から数校ずつを選び「子ども読書活動に関するアンケート」を実施するとともに、保育園児や小学生の保護者についても同様のアンケートを行う。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 アンケートは5年おきに実施します。内容や頻度、対象者などについては、今後、進捗管理に合わせて見直しを行います。	
				前回実施H27								
		指標	活動	アンケート実施回数(回)	目標							
			実績	—	—			実施			1	

51	実施計画の進捗管理	向こう5年度のローリング方式により、この実施計画に掲載の各取組について、毎年、前年度の進捗状況を評価するとともに、必要に応じて計画を見直し、各取組の実効性を高める。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
											備考 取組の実施に合わせ随時進捗管理をしていますが、H29年度も四半期ごとに進捗状況を取りまとめ、図書館職員内での情報の共有化を図りました。
				実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
		資料	活動	進捗管理の実施回数(回)	目標	1	4	4	4	4	4
			実績	4	4						